

I 自己評価

1 評価結果

(別紙参照)

2 分析・改善方法

(1) 生徒の自主性を伸ばし志を育成する。

学校自己評価アンケートの「自ら行動できる人材育成」が生徒72%（昨年68%）で4ポイント増加した。しかし、保護者は78%（昨年82%）と4ポイント減少した。新型コロナウイルス感染症対策のため、多くの学校行事が中止や縮小することとなり、生徒会活動や部活動のみならず、授業も含めた教育活動全般で取り組む機会が少なくなった影響が考えられる。反面、生徒のポイント増加については、この状況下で何ができるかを自ら考えることとなり、感染対策も含め自ら考えて行動する自主性の育成につながったことが大きい。

(2) 学習活動に意欲を持って取り組むことができる生徒を育成する。

授業に関する項目の「評価は適正」は生徒86%（昨年77%）、「魅力的な授業」は生徒77%（昨年77%）。「授業の工夫」は生徒70%（昨年62%）と概ね増加し、目標値に達した。しかし、「ICT機器の活用など魅力的な授業」は教員77%（昨年94%）から大幅に減少した。この授業アンケートの結果を学校全体で共有し、GIGAスクール構想を活用しながら授業改善を図っていきたい。

(3) 特別活動や部活動、社会貢献活動をとおして社会規範を身につけさせ社会人基礎力を育成する。

新型コロナウイルス感染症対策により、多くの大会や発表会などの場が奪われることとなった。地域連携のためのボランティア活動や地元のイベントにも参加することができず、経験を通しての学びとしては課題が残った。活動再開後は、参加だけではなく参画できる活動にしていきたい。

(4) 将来を見据えたキャリア教育を充実させ進路実現ができる力を育成する。

就職試験の日程変更や新入試制度の導入など、例年とは違う中での活動となった。しかし大きな混乱もなく、就職内定率は卒業までに100%を達成することができた。進学では国公立大学3名と公立短大1名。大学共通テストに2名挑戦した。進路講演会や進路探究、ガイダンス等変更はあったが、実施することができた。今後も継続して、進路実現に向けた取組を充実させていきたい。

(5) 意思の疎通を推進し、風通しの良い組織となるよう協働していく。

新型コロナウイルス感染症対策のため、行事予定を大きく変更することとなり、情報共有を図りながら運営委員会を適宜実施することができた。（30回 前年対比1.8倍）時間外勤務の平均時間が40時間となり、目標の45時間を下回ることができた。

(6) 生徒が安全で快適に過ごせる施設、設備の整備を推進する。

学校自己評価アンケートの校内美化・施設設備に関する項目の「清掃活動と校内美化」は生徒80%（昨年76%）、「施設・設備」は生徒76%（昨年67%）であった。目標数値に僅かに届かなかったが、長寿命化工事中であることを考慮すれば、生徒の美化意識が向上していると判断する。引き続き美化に向けた取組を推進していきたい。（R3年長寿命化工事継続）

Ⅱ 学校関係者評価委員名（５名）

別所 美治（地域有識者（玉島商店街会長）	西井 弘人（同窓会会長）
奥田 浩二（地域有識者（玉島公民館）	上田 拓也（PTA会長）
松田 寿雄（地域有識者（岡山商科大学）	

Ⅲ 学校関係者評価

- ・ トイレや部室などの施設整備を何とかしてほしい。学校に対する印象として影響が大きい。生徒募集の観点からも、校舎やトイレが汚いと生徒は来ない。私学に追いつけなくなる。
- ・ 検定への取組は評価できる。特に2年生の会計と原価計算の全員・同時受検に関しては、良く頑張ったという印象。1月に検定が集中していることから、2年までに資格取得しておかないと進路決定に影響する。1・2年でしっかり指導してもらいたい。今年のように全員受検をすることにより、お互いのモチベーションが高められたのではないかな。
- ・ ICT機器の活用について、教員のアンケート結果が低いことは問題だと感じる。新型コロナウイルス感染症対策で、急速な導入を迫られていて大変だと思うが、ピンチをチャンスに変えるよう頑張ってもらいたい。今まで考えられなかったようなことができるようになるはず。夢を持たせるような教育活動をしてほしい。
- ・ SDGsへの取組は何か計画しているのか。持続可能な開発目標という観点から、様々なことができるのではないかな。玉島商店街の朝市からも情報発信できるので、活用してもらいたい。
- ・ 保護者のアンケート結果が、昨年と比較して下がっている項目が多い。学校行事が少なくなり、わからないという状況があるのではないかな。保護者に向けた情報発信を積極的に行ってもらいたい。
- ・ 一般入試の倍率が下がり、定員割れをしたことの分析をして対策をする必要がある。オープンスクールや出前授業、学校説明会やHP発信なども大切だが、生徒の満足度が大切だと思う。中学生にとって先輩からの話は影響力がある。在校生の満足度を上げる取組をしてほしい。

Ⅳ 来年度の重点取組（学校評価を踏まえた今後の方向性）

- 1 生徒の自主性を伸ばし志を育成する。
- 2 学習活動に意欲を持って取り組むことができる生徒を育成する。
- 3 特別活動や部活動、社会貢献活動をととして社会規範を身につけさせ社会人基礎力を育成する。
- 4 将来を見据えたキャリア教育を充実させ進路実現ができる力を育成する。
- 5 意思の疎通を推進し、風通しの良い組織となるよう協働していく。
- 6 生徒が安全で快適に過ごせる施設、設備の整備を推進する。